



別子山公民館

令和5年2月号

別子校区まちづくり推進委員会 地域内高齢者配布用餅つき

昨年(2023)の12月25日(日)今年も別子山ふるさと館をお借りして、別子山地域内の70歳以上の高齢者の皆さんにお配りする、お餅つきを実施いたしました。

丁度日本列島には非常に強い寒気が張り出し、各地で大雪が降る等寒い日々が続いておりました。

当日も曇り空で冷たい風がふく寒い一日でしたが、朝早くから大勢の皆様にお手伝いをいただき、和やかな雰囲気でも気持ちもふっくらほっこり、温かいおもち作りを行うことができました。

全国で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、愛媛県内でも前週の同じ曜日を上回る勢いは変わることがなく続いておりましたが、年末の大切な行事の一つとして計画通り実施にこぎつけることができました。

先ずは準備ですが「臼や杵、せいろ」などのお餅つき用具を自治会や個人の皆様にお貸しいただく事から始まり、買い揃えなければいけない「餅米や配布用のクリアパック、ゴム手袋」など様々な用品の買い出し、当日の2日前から洗った餅米を水に浸し準備完了です。

お餅つき自体が食に関わる大事なイベントでございますので、感染対策には万全を期しもしもの心配が無い様に十分配慮しつつ、ご高齢の皆様にも少しでもご奉仕出来ればとの思いから実施することが出来ております。

特に当地域の高齢者人口は安定的に増加傾向でございますので、つき上げる量も年々増量しており、今年はもち米27kg11臼を配布用としてつき上げました。

出来たお餅は、各自治会長様をお願いをして配布いたしました。対象の高齢者の方からは、「寒い中ありがとう」と、労いの言葉をいただきました。今後も、地域の歴史を積み上げてこられた皆様に、少しでも恩返しをすることや、これからの地域を安定的に支えていただく原動力として、長〜くご活躍頂く事などを記念して、配布を続けて参りたいと思います。

迎えた新しい年が、元気で健やかな一年となります様お祈り申し上げます。



第62回 新居浜市公民館研究大会の開催予定

今年度もコロナ禍での開催となりましたが、公民館では地域課題の解決に向け、住民自らが将来ビジョンを考え、自らが決定・実行できる人材育成と、近年猛威を振るう自然災害に住民と連携して地域を守る公民館づくりを目指します。

- 1 日程 令和5年3月4日(土)
- 2 場所 新居浜市民文化センター
- 3 参加者 公民館職員、学校関係者、公民館運営審議委員(他)
- 4 大会主題「支え合い、助け合う、地域づくり」
サブテーマ ~これからの公民館の在り方~

※ 講演では、愛媛大学社会連携推進機構教授 前田 眞さんをお呼びして「公民館の在り方」についてご講演いただき、ディスカッションを行います。

第21回 地域おこし協力隊通信



★別子自然派濃厚ジャム★ ~ (イエローミミ) ~

写真のトマトジャムは、年間を通して寒暖差の激しい別子山で、自然農法と言う厳しい条件で、昨年私が育てたミニ

トマト(イエローミミ)で作りました。加工は、伊予柑漬本舗さんをお願いし、トマトと砂糖と水飴でジャム状に煮詰めたもので、添加物はありません。数量限定商品になりましたが、今年は作付けを拡大して昨年以上の収穫に結び付けたいと思います。



市営住宅入居者募集（申込み）

市営住宅への入居者を次のとおり募集します。

■配布期間：令和5年2月1日（水）～令和5年2月20日（月）

■申込期間：令和5年2月6日（月）～令和5年2月20日（月）

※窓口でしか申込できません（郵送、メール不可）。

■募集団地：①南小松原、②桜木、③高津、④城下、⑤新田、
⑥新田第二、⑦北新町、⑧西の土居、⑨新須賀、
⑩泉宮第二、⑪西原、⑫治良丸南、⑬治良丸、
⑭横山南、⑮横山北、⑯松原

※詳細は館内掲示物、新居浜市営住宅管理グループホームページ、市政だより、新居浜市営住宅管理グループで配布している、市営住宅入居者募集要領をご確認ください。

■申込条件：市営住宅入居者募集要領にてご確認ください。

■問合せ・申込先：新居浜市営住宅管理グループ

〒792-0025 新居浜市一宮町一丁目6番37号

移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

移動図書館「青い鳥号」が、別子山地区にやってきます。

みなさん是非ご利用ください。

2月は、16日（木）に巡回します。

別子小中学校 13:00～14:00

※本を借りる場合は、「図書館カード」が必要です。

※1人10冊まで借りる事ができます。

その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立別子銅山記念図書館

TEL 0897-32-1911

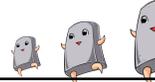
地域文化の伝承 こんにゃく作りに挑戦（予定）

公民館では、地域文化の伝承を標題にして、別子山の貴重な産物を掘り起こし、後世に語り継げるよう活動を続けて参りたいと思っております。

まずは、食文化の伝承活動で、冬場の厳しい自然環境の中で出来る「こんにゃく」づくりを行います。

現状では、こんにゃく芋を地域内で調達する事がなかなか難しい現状ですので、調達出来次第、地元の方に講師をお願いし、作り方の冊子の作成から、こんにゃく作りまで手掛けて参りたいと思っております。

先ほど申しました芋を調達出来ましたら、日程調整しお知らせいたしますので、お手伝いをよろしくお願い致します。



実施時期：2月中旬頃予定



新型コロナウイルス感染症に関する情報

インフルエンザとの同時流行に備えた注意事項 —重症化リスクの低い方【小さな子どもや高齢者以外】—

➢風邪症状（発熱、のどの痛み、せきなど）の場合は
救急車の要請や休日夜間の受診は控えて

※年末年始には、発熱外来で4～5時間待ちも発生

➢事前に準備した抗原検査キットで検査のうえ
陽性の場合は「[陽性者登録センター](#)」に登録

➢自己検査でコロナ陰性の場合、インフルエンザを疑い、[可能な限り平日・日中に医療機関を受診](#)

➢コロナの[抗原検査キット](#)（国が承認したもの）や
[市販薬](#)（解熱鎮痛剤等）の事前準備

主事補のひとりごと

別子山公民館の小山でございます。早いもので公民館職員として一年余りが経ち冬場における別子山への通勤も二回目を迎えました。去年の今頃は雪道や凍結した路面を走行するのに恐々としておりましたが、今では新規に購入した四駆の軽自動車とスタッドレスタイヤの御蔭で悠々と通勤することができるようになり、ついついスピードをだし過ぎてしまう自分を制している今日この頃ですが、皆様は如何お過ごしでしょうか？

私は先月、別子小中学校の体育館で実施された「避難所運営ゲーム（HUG:ハグ）」を見学してきました。避難所運営ゲーム「ハグ」とは、ボードゲームをやる感覚で図上避難所運営訓練ができるもので、尚且つ、やっていて楽しいのが特徴です。「ハグ」は、グループに分かれての演習（ゲーム）となるため防災能力向上のみならず、参加者同士の交流を通じて地域社会の連帯感醸成につながると感じました。災害時に避難所として指定されている当公民館で、楽しく実践的な避難所運営を体験することができる「ハグ」を学生のみならず地域の方々を交えてやってみたく強く思うのでした。（おわり）



雪道・アイスバーンの安全走行・ワンポイント

- 急ブレーキ、急アクセルなど、“急”につく運転はしない。
- 下り坂は、エンジンブレーキ活用で慎重に運転する。
- 前方との車間距離は常に多めに取らしましょう。
- 乗車したら、ブレーキテストを行いましょう。



なかよしのねごと



今年も大寒「厳寒期」をすぎ積雪と厳しい寒さを体感いたしました。

別子山の冬本番は相変わらず厳しいです。

皆さんいかがお過ごしでしょうか？

さて、今も毎日感染者が急増している新型コロナウイルス感染症、いまだに収まりを見せませんが、インフルエンザとの同時流行が懸念されております。市内でも感染者が高止まりしておりますがまだ先が見えない状態です。何年も引きずらず、何とか早期の収束を願うばかりです。本当に!!

それから、上部記事でもご紹介いたしました、食文化の伝承活動（こんにゃく作り）ですが、なかなか思うように行きませんが、お芋の調達が出来次第、活動に結び付けたいと思っておりますので、是非ともご指導の程よろしくお願い致します。また、2月と言えばもうすぐ節分ですね、節分という言葉には「季節を分ける」という意味があるそうで、昔の日本では、春は一年の始まりとされ、特に大切にされたようです。

その為、春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったそうです。やはり、豆をまいて鬼を追い払い、良いもの（福）を呼び込みたいです。

立春と同時に、季節も徐々に春めいてまいりますが、まだまだ朝晩の冷え込みは厳しいものがございますので、皆さんも無理をせず御身体には十分注意してお過ごしください。

